

2025年4月4日

報道関係者 各位

(県政記者クラブ、横浜市記者クラブ同時発出)

歓迎会シーズン お酒の飲みすぎに要注意！ 「急性アルコール中毒」の手当の仕方

新年度が始まり、歓迎会を開く会社や大学のサークルが多くなる時期です。

飲酒をする時は、自分の適量にあったアルコールの摂取を心がけるとともに、周囲の方も相手に飲酒を強要することは控えましょう。

「もしも、急性アルコール中毒になって、倒れてしまったら…」

赤十字がその手当の仕方を紹介します。

「急性アルコール中毒」って何？

短時間に多量のアルコールを摂取することによって生じる中毒です。

アルコールは脳を麻痺させる性質をもっており、最も重い急性中毒では、呼吸や心臓の働きが抑制され、死亡することがあります。

また、表面の血管が広がり体温を失うので、凍死の原因になることも。

軽い中毒でも、正常な判断力を失って事故を起こす危険が高くなります。



■症状

- ほろ酔い：おしゃべりになり、陽気にはしゃぐ。
- 酔 酩：足がふらつく、吐き気がする、記憶が途切れる。
- 泥 酔：立てなくなる、言葉が支離滅裂、意識がもうろう、激しいおう吐。
- 昏 睡：ゆすっても呼んでも反応しない。



■手当の仕方

□状態の観察

- ・静かに眠っているか
- ・顔色が正常か
- ・呼吸や脈が規則正しいか

全て当てはまったら…

観察を続ける

□意識を失っていたら、回復体位にして保温する。

□呼吸が停止したら、一次救命処置(心肺蘇生・AED)を行う。



注意事項

皮膚が冷たくしっとりとして、呼びかけにまったく反応せず、異常な呼吸(浅く速い呼吸、非常にゆっくりとした呼吸)がある場合は危険性が高いため、すぐに医師の診療を受けさせましょう。

■「いのちを守る」赤十字の講習会 県内各地で開催中！

日本赤十字社神奈川県支部（以下、当支部）では、県内各地で一次救命処置の手順(心肺蘇生・AEDの使い方)やけがの手当、病気や水の事故防止等に関する正しい知識・技術を学べる各種講習会を開催しています。一度講習を受けた方でも、いざ目の前で人が倒れた時、助けに行くのをためらってしまうことがあります。すぐに手当ができるよう、繰り返し学ぶことが大切です。

そのため、当支部では講習会への参加とともに、継続的な受講を呼びかけています。



救急法



水上安全法



幼児安全法



健康生活支援講習

ぜひご取材ください。

ご希望に応じ、報道関係者の皆さま向けの一次救命処置体験（心肺蘇生・AED）も随時、受け付けています。

【問い合わせ先・取材申込み先】

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課 企画広報係

TEL: 045-681-2124 Email: kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp